

Views of Kanan Irrigation Project, Formosa.



(1) スチームショベル活動中

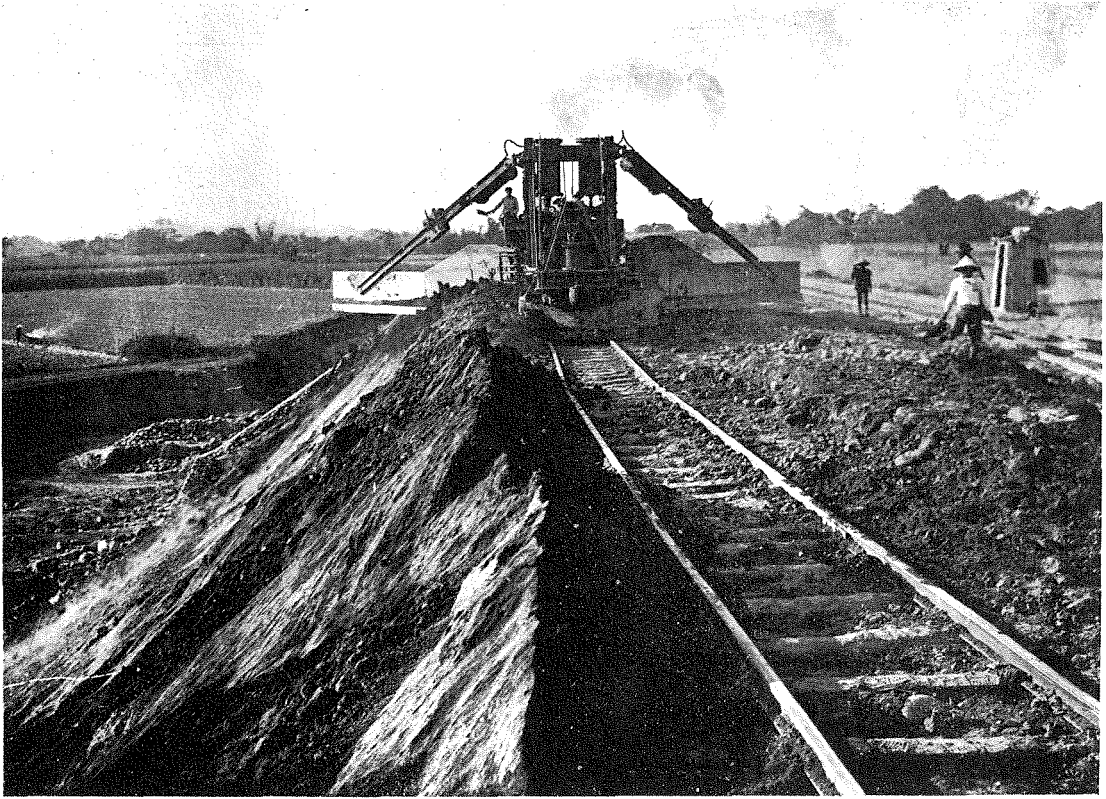
臺灣に於ける大灌漑工事

(嘉南大圳公共埤圳の事業)

埤圳と言ふのは灌漑、排水の施設を謂ふのである、文化の潮流に遠ざかつてゐた臺灣にも、この埤圳の施設は往昔から行はれ、比較的發達してゐた、然しながら本島西南部、臺南州大半の地は、古來、幾多の范濫と旱魃とのため、幾度かの埤圳の施設もその度に烏有に歸したと云ふ、頗る苦惱の地である。本工事は實にその地への救済である、以下その工事を紹介せう。

嘉南大圳野水池堰堤は Semi-Hydraulic Fill System で築造せらるゝが盛土材料は10哩ばかり離れた曾文溪から搬ばれてをる。圖は2½ cu. yd. Steam Shovel で16 cu. yd. Air Dump Car に積込みつゝある狀況

Semi-Hydraulic Fill Dam Under Construction in Formosa. Material for the Dam is Brought from Sobunkei, Ten Miles from the Dam Site. The Picture Shows 2½ cu. yard Steam Shovel and 16 cu. yard Air Dump Cars at Work.



(2) Railway Grading at Kanan, Formosa. (2) 土運列車から材料が線路傍に投げ出され空列車が引出されると汽關車に連結された Spreader がばたきを起す。而して次の盈車が来る迄には奇麗に地均しをするのである。圖はスプレダラーの活動中。

事業の大意

臺南州下に於ける看天田、蔗園其他の土地は、毫も水利の便なく一朝豪雨が沛然として来る時は直ちに范濫の厄に遭ひ、南國の太陽の強烈さが續けば忽ち涸渴する、さうした極端なる苦しみにある上述の地に灌漑及排水の設備を施し、水稻、甘蔗其他の農作物の生産增收を圖るためにこそ本計畫が胚胎したのである。

そして灌漑に就ては、曾文溪及濁水溪を水源とし、曾文郡官田庄烏山頭と云ふ處で官佃溪を締切つて一大貯水池を築造し、曾文溪水をこれに引用し、一方烏山嶺に隧道を穿ち曾文溪上流より溪水を導いて官佃溪流域の雨水と共に貯水し、必要に應じて流出給

水する方法を執るのである。濁水溪の方は、斗六郡荊桐庄新庄子と云ふ處で同溪の護岸に取入口を設け圳路に依りて溪水をその儘田園に引用する。排水に就いては要所々に排水路を掘鑿し、又在來の排水路の改修海岸潮止堤防の築造等をも行ひ以て區域内一帶の悪水排除を充分にしようとするのである。本事業区内に包容し、水利を受けさせる土地は十五萬甲の豫定で毎年三分の一、適當の給水を行ふ計畫である、元來本地域一帶は冒頭に述べた如く本則計畫以外には永久的に別箇の水利施設の望が無いので出來得る限り廣い地域に亘つて均しく水利の便を膺らせやうとする方針の下に計畫せられたのである。